



かなみ 社協だより

No.151 令和2年
7月15日
発行

社会福祉法人 函南町社会福祉協議会
函南町平井717-28 TEL(055)978-9288
ホームページ <http://kannami-syakyo.jp/>



コロナに負けるな!!

わかさ共同作業所では函南町商工会と協力して
新型コロナウイルス対策用のマスクを製造し
町内店舗にて販売しています

受託事業

15,810,656円

- ① 手話通訳者派遣事業 派遣回数 9 回
- ② 要約筆記者派遣事業 派遣回数 18 回
- ③ ベビー・キッズ用品貸出事業
(ハビ-カ14件、ハビ-ハット22件、チャイルドシート38件)
- ④ 生活支援コーディネーター設置事業
地域の支えあい勉強会(97回)、ボランティア養成講座(37回)、協議体会議(31回)、情報交換会(105回)
他総計 800 回、かんなみおでかけサポート(161日
1,026人)、かんなみ暮らしの応援隊(432回)、介護予防
ボランティア派遣(54回)
- ⑤ 市民後見人養成講座 2名参加
- ⑥ 産後ケア訪問型家事支援事業 利用 24 回
- ⑦ 子育てコーディネーター事業 子育てサロン 44 回

介護保険事業

72,503,352円

- ① 居宅介護支援事業 ケアプランの作成
要介護 614 件、要支援 124 件、認定調査 4 件
- ② 訪問介護事業
要介護者 2,871 回、総合事業対象 1,623 回
- ③ 通所介護事業 要介護者利用 延べ 5,040 人
要支援者利用 延べ 1,286 人

障害者自立支援事業

392,037円

障がいをお持ちの方にヘルパー派遣による家事援助を行った。訪問回数 151 回

地域包括支援センターの運営

21,330,632円

- ① 介護予防ケアプランの作成 利用人数 137 人
- ② 権利擁護事業 虐待相談 7 件、虐待対応 21 件、
成年後見・日常生活自立支援相談 22 件
- ③ 介護関係の相談 対応回数 1,164 回
- ④ 高齢者安心ネットワーク事業への登録 14 名
- ⑤ 支援困難ケース、介護支援専門員連携、地域ケア会議

認知症地域支援施策推進事業

4,135,783円

- ① 認知症疾患医療センターとの連絡会 12 回、サポーター
養成講座 4 回、認知症初期集中支援チーム会議 12 回
- ② 認知症カフェ 16 回
- ③ キャラバンメイト連絡会 4 回

在宅医療介護連携相談事業

6,390,104円

- ① 相談員の配置
- ② 医療連携会議、町民への普及啓発

函南町わかさ共同作業所の運営

41,206,205円

- 障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所として、障がい者の自立と就労促進のための事業を実施した。
(通所者 22 名 開所日数 260 日 延べ利用 4,909 人)
- ① 下請け事業(菓子類紙箱折、おかずパックの仕分)
 - ② 自主製品(クッキー等の製造、野菜作り、ぼかしなど)
 - ③ アルミ缶や古紙の回収
 - ④ 料理教室、買い物等社会体験、絵手紙教室他

令和元年度会計決算の詳細は、ホームページをご覧ください

令和元年度 事業報告

令和元年度は、10月の台風19号や、2月以降新型コロナウイルス感染の影響を受けて、予定していた事業が中止となったものがありました。しかしながら、台風の影響により「災害ボランティア本部」を立ち上げることができ、実践活動を通じて得た経験は、今後の社協事業の展開に多に役立つこととなりました。

法人運営事業

31,615,795円

- ① 理事会、評議員会、地域福祉推進委員会、評議員選任・
解任委員会の開催
- ② 会員加入促進(一般 7,875 件、特別 38 件、賛助 94 件、
施設団体 23 件)

地域福祉活動推進事業

20,666,250円

- ① ボランティア活動の育成(ボランティアだよりの発行、
ボランティア団体への支援)
- ② 地域福祉教育実践校事業の支援(町内小中高校 8 校を
指定)
- ③ 災害支援ネットワーク事業の推進、災害ボランティア
本部の立上げ(台風19号被害によるニーズ対応 106 件)
- ④ ふれあい広場は台風の影響により中止した
- ⑤ 小口資金貸付(貸付件数 17 件)、特例貸付(5 件)
- ⑥ 生活困窮者自立支援事業(相談 92 回)
- ⑦ 身体障害者福祉会他 6 福祉団体育成と支援
- ⑧ 居場所いこう家つかもとの運営 282 日 3,476 人利用

在宅福祉推進事業

7,742,127円

- ① ふれあい懇親会の開催(年 1 回 85 名参加)
- ② 一人暮らし高齢者宅等ガス器具点検(18 件)
- ③ 福祉総合相談事業の実施(相談 1,033 件)
- ④ 福祉機器貸出 車椅子等の無料貸出
(車椅子 65 回、ポータブルトイレ 2 回)

共同募金配分金事業

7,260,637円

- ① 在宅介護者茶話会の開催(年 11 回 100 名参加)
- ② 身体障害者移送用車両貸出事業
無料貸出 68 回(内、運転ボランティア利用 42 回)
- ③ おもちゃ図書館活動への協力
(年間 63 回、子ども利用数 591 人)
- ④ 第 69 回社会を明るくする運動の実施
- ⑤ 緊急通報システムの設置(緊急対応のための装置)
(令和 2 年 3 月末 39 台)
- ⑥ 男性の料理教室(年 10 回 126 人)
- ⑦ 社会福祉大会及び福祉講演会の開催
- ⑧ ふくし映画会の開催(年 1 回 54 名参加)
- ⑨ かんなみ社協だよりの発行(年 6 回)
- ⑩ いきいきサロンの支援 9 か所
- ⑪ 歳末たすけあい募金の配分事業(町内 160 世帯配分、
地域福祉事業お飾りづくり講座)

日常生活自立支援事業

922,718円

福祉サービスの利用援助及び日常的金銭管理を行った。(令和 2 年 3 月末 契約件数 14 件)

令和2年度伊豆市・三島市・伊豆の国市・函南町市民後見人養成研修

日 時	令和2年10月2日(金)～令和3年2月5日(金)の指定する日 (2回の講義とDVDでの在宅学習)
会 場	伊豆の国市葦山福祉・保健センター2階研修室(伊豆の国市四日町302-1)
内 容	市民後見概論、民法、法律の基礎、グループワーク、体験実習等
対 象	1 成年後見制度及び高齢者や障がい者への福祉活動に理解と熱意があり、心身ともに健康な30歳～70歳までの方 2 伊豆の国市、伊豆市、三島市及び函南町に住民票があること 3 成年後見人の養成研修を実施する団体の資格を有していないこと (弁護士・司法書士・社会福祉士などの有資格者は当該団体が実施している養成研修を受講してください) 4 原則として、指定したすべての講座を受講することが可能で、市民後見人として活動できる見込みがあること 5 報酬を得ることを目的としないこと (社会貢献の要素が強い制度であることを理解してください)
受講料	無料
申込方法	8月3日(月)～8月24日(月)の期間中に事前説明を受けた後、8月25日(火)～9月18日(金)までに申込書に必要事項をご記入の上、函南町社会福祉協議会へ郵送または直接提出。申込用紙は函南町社会福祉協議会のホームページよりダウンロードできます。 ※事前説明は函南町社会福祉協議会で個別に対応いたします。
募集人数	町内在住者5名
受講決定	9月30日(水)までに通知発送
申込問合せ	函南町社会福祉協議会 函南町平井717-28 保健福祉センター2階 ☎055-978-9288

温かいお気持ちをありがとうございました

6/15
受付分
まで

お寄せいただいた多くのご寄付は、地域福祉活動へ有効に活用させていただきます。(敬称略・順不同)

寄付金 匿名 20,000円

物品寄付 山田静子(柏谷)牛・エ / つつみ(パサディナ)牛 / 上沢15組ア・フ・牛・エ / 内田明年(大竹)フ・エ / 伊藤紗奈(柿沢台)エ / 岩田自動車钣金工業(丹那)ア / 御手洗均有志一同(新田)フ・エ / 城山サロンア・フ・牛・エ / 堀田羽琉(新幹線)フ・牛・エ / 山本康子(仁田)エ / 幹寿会(新幹線)ア・エ / 白井(間宮)エ / 飯田喜美子(仁田)フ・牛 / 杉崎(平井)ウ / 菊間(間宮)フ・牛・ウ・エ / フルハシチヨコ(平井)エ / エームサービス(株)NTT東日本伊豆病院事業所牛 / 島崎



函南町ボランティア連絡協議会
収集グループ 50,000円

(上沢)牛 / 芹澤(畑毛)牛 / かなみ女性の会エ / 鈴木恵美子(上沢)フ・牛・エ / 鈴木米子(柏谷)切 / 越後恭子(塚本)牛 / 北原郁子(平井)切 / 山内忠一(間宮)フ / サンクレイドル函南(塚本)牛 / 村越すゑ子(平井)エ / 平井いきいきサロンエ / 村上(桑原)フ・牛・エ / 柿沢台交友会フ・牛・エ / 木内啓司(間宮)フ / カフェつながり・卓球(柏谷)手作り布マスク大人用114枚と子供用100枚 / 鈴木米子(柏谷)手作り布マスク40枚 / JA三島函南女性部 手作り布マスク88枚

その他匿名でご協力くださった方々ありがとうございました!!

牛 牛乳パック ウ ウェス フ ブルタブ ア アルミ缶 切 古切手等 ハ ハガキ オ 紙おむつ エ エコキャップ

こんにちはボランティア 第104号

函南町ボランティア連絡協議会
問合せ先 978-9288

ボランティア活動の輪が広がるように

函南町のボランティアの多くの仲間が誰もが安心して暮らせる社会を目指して
多種多様な活動をされています。

今回は「たんぽぽグループ」と「かなみ仏の里美術館ボランティアガイド」について紹介します。
皆さんの活動への参加をお待ちしています。

グループ紹介

『たんぽぽグループ』

リーダー 梅原よし江

たんぽぽグループは9のグループ(38名)が集まり、それぞれが特色ある活動をしています。毎年、福祉施設・保育園・幼稚園・小学校・サロン・敬老会・区の行事等で延べ120回以上のボランティア活動を楽しんできました。

そんな中、今年(令和2年1月)「ふうせんかずら」グループが静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団「ふるさと貢献賞」として表彰されたことはみんなの喜びです。4月からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動は自粛、各自で技の習得に励み、活動再開を待ち望んでいます。自分の特技でボランティア活動してみたい方は、ぜひたんぽぽグループにご入会ください。

【ふうせんかずら】

令和元年に新しい仲間2名を迎え7名で、17作目の紙芝居「北条時政・政子と仏師実慶の物語」を完成させました。桑村小全学年の児童のみなさんに本好きの子どもになって欲しいとの願いを込めて、紙芝居を観ていただいております。

パサディナ区福祉自動車の発足に伴い、運営ボランティアとして支援バザーを2回開催し協力させていただいております。紙芝居上演が御縁で身障者福祉会に全員加入して会の行事に参加、交流を深めております。居場所作り「楽しいサロン523」の仲間として月1度、紙芝居、朗読の発表の場をいただいております。(鈴木克子)



【書道部】

書道部のメンバーは8名で、白寿園と伊豆ライフケアホームで活動しています。書道の笹原先生にお手本をお願いし指導していただいて、私達は利用者さんが書きやすいように、お手本・半紙・硯・下敷き・筆等を準備します。(戸澤慶子)



【マジックファンシー】

不思議さと夢の織り成すエンターテイメント創りをめざして、みんなで技を磨きながら楽しんでいます。幼児から高齢者の方々まで楽しんでいた
だけの演芸です。

(榎本政夫)





【カナリアクラブ(ハーモニカ)】

私達は8名のメンバーで、4か所の福祉施設を定期的に訪問し、ハーモニカの四重奏・童謡・歌謡曲等を聞いていただいたり一緒に歌ったりしています。ハーモニカの音色は郷愁を誘うのか「懐かしい、楽しかった」という声を励みに練習を重ね活動しています。(殿岡富佐子)

【お茶とお花(子供山月城山)】

子供たちはお茶とお花の体験を通して「美」を楽しみながら、心づかいや感謝などの「おもてなしの心」「礼儀作法」を学んでいきます。夏休みや冬休みにはデイサービスを訪問し、おじいちゃんおばあちゃん達と楽しいふれあいの場をもっています。城山サロンでの新年の初釜にも参加しています。(埴 啓子)



【フォーク ナツカシーズ】

懐かしいフォークソングを演奏するボーカル・シンセサイザー・ギターの3人組で、福祉施設等で皆様と共に歌い、楽しい時間を過ごしています。(片岡資朗)

【バルーンアート ゆうこりん】

バルーンアートを通して素敵な出会いがあり、たくさんの笑顔や「ありがとう」の言葉をいただき幸せを感じています。大勢の方にバルーンアートを知ってもらい、笑顔になってもらえると嬉しいです。(渡辺裕子)



【唄と踊り(八舟会)】

福祉施設訪問時には三味線・尺八に合わせて懐かしい歌を唄い踊り、皆さんと楽しい時間を過ごしています。(三井田初枝)

【囲碁の対局】

地域の居場所や福祉施設に入所の囲碁愛好者の皆様で、囲碁の対局をしたいと望んでいる方がおられましたらお相手をします。(鈴木 進)

かなみ仏の里美術館 ボランティアガイドの活動

松本 香代子

ボランティアガイドとなるために、月1回のお弁当持ちの研修会を6回受講し、筆記テストや実技研修を行いました。情熱的に教えてくださる先生方や個性的な活動をしている生徒さん方とご縁を結ぶことができたことは、わたしの大きな喜びでした。

わたしは、今まで2331名の方々に仏像の説明をしてきました。仏像初心者の方、わたしより仏像に詳しい方、うなずきながら一生懸命聞いてくださる方、午後のお疲れからお休みの方といろいろでした。長い経験の中から、こういう場合はこんなふうに対応しようという適応力が養われました。「仏像についてよく分かりました」とほめていただくと、またがんばろうという気持ちになりました。何より、健康でなければガイドは続けられません。桑原の自然に癒されながら、できる限りガイドを続けていきたいと思っています。



新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金でお悩みの皆さまへ

一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

新型コロナウイルス感染症の発生が要因となり、休業や失業などで一時的、または継続的に収入が減少したことで生活費にお困りの世帯に対して、必要と認められる場合に資金の貸付をする制度です。

※貸し付けについては要件等があります。詳しい内容については下記までお問合せください。

住居確保給付金に関するご案内

離職・廃業から2年以内または休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にある方に向けて一定期間、家賃相当額を自治体から家主さんに支給する制度です。

※賃貸住宅の家賃が対象です。住宅ローンのための補填ではありませんのでご注意ください。

主な給付要件チェックリスト

- ◎離職・廃業した日から2年以内または休業等により収入が減少している。
- ◎資産が一定額以内、かつ、収入基準額以内である。(下記表参照)

—	単身世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯
収入基準額(月額)	70,000	107,000	130,000	154,000	177,000
支給家賃額(上限額)	37,200	45,000	48,300	48,300	48,300
資産要件	420,000	642,000	780,000	924,000	1,000,000

- ◎上記の状態になる前に、世帯生計を主として維持していた。

相談窓口開所日について

月曜日から金曜日(祝日除く) 8:30～17:30

※平日来所できない方は、第2、4土曜日 8:30～12:00の間で予約にて窓口を開所します。

平日の受付時間内に電話でご予約ください。

問合せ **函南町社会福祉協議会** (函南町平井 717-28 保健福祉センター 2階) 電話 **055-978-9288**

フードドライブにご協力ください!!

フードドライブとは、家庭に眠っている食品を集めて、フードバンクに寄付する食品寄付運動のことです。その食品は行政や社協・支援団体を通じて生活困窮世帯へ配布されます。

実施期間 令和2年8月1日(土)～8月31日(月)

回収場所 函南町社会福祉協議会

函南町保健福祉センター福祉センター側入口

希望食品

保存食品(缶詰、瓶詰等)、レトルト食品、インスタント食品等々常温保存が効くもの

食べ物を寄贈するときの注意

- ①賞味期限が2か月以上あるもの
- ②賞味期限が明記されているもの
- ③未開封であるもの
- ④お米は常識の範囲で古くないもの

お問合せ 函南町社会福祉協議会 電話 055-978-9288



函南町社会福祉協議会 総合窓口

〒419-0107 函南町平井 717-28 保健福祉センター 2階

☎(055)978-9288

地域包括支援センター ☎(055)978-1700

ほほえみの里デイサービス ☎(055)978-1771

わかくさ共同作業所 ☎(055)978-6038